THE WOMAN'S WEEKLY

第三巻 第三十九號

大正五年九月廿八日發行（毎週金曜日發行）

大正四年十一月四日第三種郵便物認可

婦人週報

目次

□婦人會の心を注ぐへき研究問題……小橋三四子
□時事週評……
□不幸の根を絶つ結婚法……山内博士
□インスピレーション「埴原久和代女史」……
□世間の景氣に洩るゝ貧家の妻女……民子
□婦人界開拓者の家庭訪問「宮田脩氏と其夫人」
□悲しき餘生を華やかに生くる亡き勇士の妻……住子
□路傍樹の美觀……斬雲
□夜着こ毛布こ何れが徳用か……佐久千代子
□三十錢で出來る客膳……川崎まさ子
□お伽ナシ「自然兒」……琴子
□小話「月夜の市」……波留子
□子供の世界……
□小説「犬こ彼等」……高田ていを
□讀者から……
□時事……編輯室より……

定價一部四錢五厘 郵税五厘

婦人週報社

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

御註文の節は婦人週報にて見たる旨御記入を乞ふ

著譯者		書名	定價	送費
生田長江 生田春月 共譯	■全譯	罪と罰 ■	定價一圓四十錢	送費十二錢
辻　潤譯	■全譯	天才論 ■	定價一圓廿錢	送費八錢
武林無想庵譯	■全譯	サニン ■	定價一圓也	送費八錢
松本雲舟譯	■完譯	何處へ行く ■	定價一圓十錢	送費八錢
大町桂月編	■	ポンペイ最後の日 ■	定價八十錢	送費八錢
大町桂月編	■	アイヴアンホー ■	定價八十錢	送費八錢
大町桂月編	■	クオヴヂス ■	定價八十錢	送費八錢
福永挽歌譯	■全譯	椿姫 ■	定價八十錢	送費八錢
馬場吉信譯	■全譯	湖上の美人 ■	定價七十錢	送費八錢
若月紫蘭譯	■全譯	青い鳥 ■	定價六十錢	送費六錢
吉江孤雁譯	■全譯	水の上 ■	定價五十錢	送費六錢
矢口　達譯	■全譯	クリスマスカロル ■	定價五十錢	送費六錢

著譯者		書名	定價	送費
竹久夢二著	■	暮笛 ■	定價一圓廿錢	送費八錢
田山花袋著	■	つれびき ■	定價一圓也	送費八錢
泉　鏡花著	■	菖蒲貝 ■	定價一圓廿錢	送費八錢
鈴木三重吉著	■	珊瑚樹 ■	定價九十五錢	送費八錢
正宗白鳥著	■	まぼろし ■	定價九十五錢	送費八錢
小山内薫著	■	一里塚 ■	定價九十五錢	送費八錢
長田幹彦著	■	舞姫 ■	定價九十五錢	送費八錢
田村俊子著	■	あきらめ ■	定價九十五錢	送費八錢
吉田常夏編	■	地上聖語 ■	定價八十錢	送費八錢
久保天隨譯	■	醉人の妻 ■	定價一圓廿錢	送費八錢
谷崎潤一郎著	■	戀を知る頃 ■	定價五十錢	送費六錢
北野露香女史	■	若き女性に贈る花籠 ■	定價四十五錢	送費四錢

■弊堂發行圖書目錄御入用の節は往復はがきにて御申越し次第直に御送り申可候

■發兌■ 東京本郷區駒込林町 **三陽堂** 電話小石川二〇八四番■ 振替東京三五五番■

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人會の心を注ぐべき 研究問題

□地方婦人會の調査

近く内務省に於ては、修養を目的とする地方婦人團體の調査に着手するさうです。男女の貞操觀念の廢頽する今日、地方の婦人會を中心として、風紀の振肅を圖ることは、最も喜ばしいことであります。純朴な地方に愈よ精神的生命を植ゑ付くれば其風俗は清潔になり、良家庭の中に健全なる國民の發育を見るを得るでありませう。而して内務省が調査するに於ては、必ず何等かの奬勵法と指導とが加はるでありませう。從來は物の數ともせられなかつたこれ等婦人會が、公にも認めらるゝに至つたことは、とにかく其の進歩發達を促すに力あることは確かであります。

□多大の便宜あり

然し會はどこ迄も、會衆の努力により、自發的に成育すべきものであります。而して都會の知識階級の婦人等が結べる團體は地方婦人會と聯絡を保ち、常に相呼應して世の必要に赴き、或は社會の風潮を起して行きたいものであります。幸ひに内務省の手を以て、其の調査の行はれた曉は、此の一致の運動を起す上に、多大の便宜を得ることでありませう。

□結局は臺所の問題

從來の婦人會は、多くは名士の講演を聞き、知識見聞を廣め修養に資するのでありました。働らきの方面にては、軍國の際傷病兵を慰問し、繃帶巻きを助け、或は軍人の遺族に職を授くる等が、重なる事でありました。これ等は何れも大切な事には、違ひありませぬが、然し今日は婦人會がもつと重大な使命を帶び、秩序的に事を運ぶ必要なる機關として用ひられなければならぬ時勢となりました。即ち從來家庭といふ個々の根城によつて、極めて個人的、保守的に營まれて居た國民の生活を、婦人會といふ共同の研究舞臺に取り出して、一致協力して改善を促さなければならぬ時代となりました。世界の交戰國に徵しても明らかなる如く、目下の戰亂はもし國民生活の根源なる糧食が絶たれたならば、いかに鋭利な砲彈も、飛行機も、其の用を爲さなくなるのであります。而して食糧問題は、結局は主婦の司る臺所の問題であつて、此處に頭腦を勞して、其の浪費を省き、最少量を以て、最大効果を購ふやうに工夫し、追つては萬一の場合我が國土に、太陽と露の恵とによつて、年々生ずる食品のみを以て、國民を養ひ得るといふ食物の獨立を圖る迄其の研究を進めて行かなければなりませぬ。

□新教育まだ應用されぬ

今日の女子教育に於ては、家事科が重要な位置を占めて居ります。而して生理、衛生、應用化學、料理、裁縫、育兒等、凡そ家庭に必要な學問は、剩す處なく講究せられて居ります。然し新教育を受けた婦人等は、己が臺所に歸つて、何を營みつゝあるでありませうか。さまぐ\の和洋の材料を用ひて、新らしい料理を試み、僅かに其の食膳を賑はし得るのみで、未だ手にする庖丁の先きより、國家の經濟生じ、調理する鍋の中に國民の生命を支配する重大な意義が

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

潜んで居るとは、餘り思はないやうであります。

□今日の愛國運動

國民の食糧研究等は今の婦人會には云ふべくして行はれない問題でせうか。否々心ある婦人ならば書物によつて必要な知識を獲り、學者の指導を受けても、日常の生活を基礎として出來うる事であります。殊に保健食量や、食品の成分等は、女學校の家事科でも敎へらるゝ事であります。この食糧を各自の體質や職業に合はせて、如何に増減すべきか。煮沸の加減によつて滋養に及ぼす影響如何を考へ、他方に於ては同一の食品をも、美味に食せらるゝやう、調理法や献立を編む事を研究し附屬事業として農藝を奬勵する等、順を追ふて進めは、次第に道が啓らけて參りませう。殊に家庭に在る婦人の中にも、研究に興味を持ち、知識と經驗とに富む者も決して尠なからぬのであります。婦人會は會費を以てこれ等二三の人々を有給の研究委員に擧げて、其の案を得たならば、更らに實行委員によつて遊說し、實地敎育を施して行つたなら、國家を益する事は如何ばかりでありませう。十數年前の日本は、奥村五百子女史の熱血を注ぐ愛國演說に覺醒さるゝことが必要でありましたが、今の愛國運動はもつと實質的に、形を變へて行はれなければならなくなりました。

□何れの日にか覺醒せん

國民の生活の改善を圖る事等は、決して一朝一夕に出來得るものではありません。必要に迫つていかに狼狽しても時はもう待つてはくれますまい。私共は今、大なる犧牲を拂ひつゝ、活敎訓を與へて居る世界の大戰亂を目前に控えて居ります。これに覺醒しないで、また何れの日に刺戟を受け得るでありませうか。我が婦人會、殊に中央に在る知識階級の婦人會が、速やかに虚を去り、有用な働らきに向つて、着々其の步を進められたいものであります。（三四子）

時事週評

□米國日用品禁輸　米國に於ては鐵を始め、あらゆる日用品の輸出を絶對に禁止しました。愈よ國内集中主義を取つて、萬一に備へる事が嚴しくなりました。我が國に於ても、從來輸入して居つたものも尠なからぬ中に、鐵は軍艦築造を始め、其の他の用途に、盛んに其の材料を仰いで居りました。或る事情通は米國から鐵を輸入しなければ我が國では一艘の軍艦をも作ること出來ない。軍艦が不足すれば勢ひ聯合軍側に糧食供給の道を缺くことになり、早く敵の思ふ壺に陷ることであるから、米國今回の擧は、獨り日本のみの問題にあらずして、聯合軍全體の問題であると。全くさうでありませう。

二

□急行列車の停車問題　十六日午後一時、青森驛發上野驛行きの急行列車は聯絡船延着の爲め、乘込みに混雜を來たし、多數の手荷物を積み殘したるより乘客の不便一方ならず、折柄乘込める鵜澤博士、今村辯護士は車掌と談判の末、遂に不停車驛に三十六分の長きに亘つて列車を止めし空前の出來事が生じました。公の交通機關をみだりに停むるは、陛下に於かせられても不可能の事であるので、鐵道院では、この大事件詳査の爲め、同地に人を派しました。由來かやうな事は、辯論に拙い者が却て負ひ勝ちの事でありますが、どうか公平無私に其の眞相の取調べが行はれ、責任者を明らかにされたいものであります。

□早大開校　擾亂を極めし早大は、鹽澤、森村、豐川、中野諸氏を維持員に加へて、漸く事が落着し、開校の運びになつたと申します。然し今日に於ては學生側の要求が明瞭ならずしてこの落着を見たのは、著しく物足らぬ感があります。あれ程の人騷がせには、それに相應した深遠な理想の實現があつてほしいものです。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

不幸の根を絶つ結婚法

云ふは易く行ふに難し

理學博士 山内繁雄

口最も重き人生の慶事

世の中にはめでたい事が種々あらうが、古今東西結婚を以て其の最もめでたい事に數へる。元氣旺んな若い男女が、一家庭を作つて、共に健全に、子孫も殖え、圓滿な家庭の樂しみを續ける事が出來れば、これ程の幸福はない、然し人生には起伏あり、最も樂しかるべきものゝ影にも悲しみが、潛んで居る事が往々有り得る。めでたいものゝ最なる結婚も、或は其の蔭に種々の原因で悲しみの潛む事はないか、夫妻が健全でも、子供が無かつたり、子供があつてもそれが病弱であつたり、不幸にして夫妻の何れかゞ早世したり、又は親戚の關係、經濟上の都合で、家庭の圓滿を傷けたり或は其の他さま〴〵の原因から離婚の悲しみを見たりする事があつて、幸福な家庭を見る事は稀れである。從つてものゝ効果より見る論者は、寧ろ結婚せぬ方がよいと云ひ、時には結婚者の壽命が獨身者のそれに及ばぬとの統計を擧げて、獨身生活の方が寧ろ好ましいと云ふ者がないではない。

口貞操は金に代へられぬ

結婚は極めて特殊な場合を除いては、爲すべきか、爲すべからざるかを問ふ迄もなく、結婚すべきが當然である。世が開明となつて、習慣、制度が確立するやうになると、道徳、法律の制裁が出來て、結婚者の爲した事柄に就て、それ〴〵責任を明らかにして、成るべく社會の安寧秩序を保つて、一般會衆の幸福を覺えるやうにさせやうとして居る、然し近來新聞紙上に度々現はれる女子の貞操を傷けたとして、妻から夫に要求する損害賠償の如きは、金額から云へば少きは三十圓、多きは一萬圓以上に及んで居る。人世では金はいろ〳〵の事を計る標準になつて居るが、實際貞操を傷けられたとすれば、私の考へでは、金位で濟まさるべきではないと思ふ。

口媒介結婚か自由結婚か

從來結婚の場合には、多くは父兄、媒介者によつて其の配遇者をきめる習慣が日本に於ては最も多かつた。相愛の若い男女が、各自の意志によつて結婚する事は、實に近頃の事であつて歐米の風が日本に入つた後の事であると思ふ。日本在來の父兄媒介者による結婚に、離婚沙汰が無かつたといふのではないから、其の習慣が強ち十全の道とは云へぬが、然し思想の定まらぬ一時の情に熱し易い青年男女の相愛の結婚には、終りを完うしないで、悲しみに終る者が、尠なからぬやうである。殊に婦人から男子に向けて、貞操蹂躙の賠償を起すなどは、媒介によらず、相愛の男女の自由結婚による事が、甚だ多いやうである。

口現在の結婚の目的

凡て行爲には目的がなければならぬといふ見地から云へば、無論結婚にも目的がなければならぬが、これは世の進むに從つて、明瞭に云ひ現はす事が面倒

三

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

である。もし歴史的に云へば、野蠻時代に於ては、女子を物件視して、男子の慾望の滿足を得るが爲めの行爲に過ぎなかつたかも知れぬが、女子の人格が認められ、男女相須つて世の中を作つて行くものといふことの明瞭になれる今日に於ては、結婚の目的はさう簡單ではなくなつて居る。日本では家族制度で家を重んじ、嫡男は家の代表者となるので、妻を娶るも、その一家の末路を絶やさぬやうに、立派な人格者がその家に生れ、一家一門の尊さを長く絶たぬやうに、或は寧ろ末廣くひろごるやうにといふ希望からである。

□當然の事が行はれぬ

悲しむべき離婚沙汰の無いやうにする、には愼重に考ふべき點が多々あらうと思ふが、話せば問題にもならぬ當然の事である。然し實際は云ふ通りに行つて居らぬ事の多いのは、遺憾の極みである。例へば家庭の平和を破り、終生を嫁する一家に捧げて盡さうとする婦人の固い決心を鈍らする事は、夫が妾を蓄へ、或は嚴格なる一夫一婦の道を守らぬ爲めに原因する事が極めて多いと思はれる。下等の生物に於ても、その中の稍々高尚なるものになれば全く一夫一婦で、平和な生を送つて居るのを見る、人間の結婚に於ても種々の樣式をとれる時代はあつたとしても、要するに圓滿な夫婦關係は一夫一婦にあるは明らかなる事實で、これを實行せぬ限りは、健全なる家庭を作る目的には到底近づけないと思ふ。離婚の原因として、下流社會に於ては、經濟の問題が重くなれるかも知れぬが、これ等は結婚に對する彼れ等の態度がまだ明瞭でない事も大なる原因を爲すと思ふ。

□九分通り無難の道

結婚の方法として、當事者が考ふべき二三の點を擧げやうと思ふ、第一思慮ある選擇が必要である。即ち當事者が一時の情或は都合等に誤られずして、實際思慮ある選擇を爲せば、必ずしも父兄や第三者に選擇を依賴する必要はない。然し正當の判斷を爲し得べき所謂不惑の年齡に達する遙か前に結婚する事であるから、選擇に就ても、各自の長短を知れる父兄先輩の選擇に待つ方が、九分通り無難であると思ふ。

第二は結婚の履行は無論媒介者によつて、凡ての處置をとつて貰ふことになると思ふ。かゝる事は立派なる儀禮を擧げて居る上中流の間にはいらぬことであるが、人數として多數を占むる下流社會に於ては、媒介者を待たぬことが、有り勝ちの事であると思ふ。

□相性日取と社會の地位

第三に結婚せんとする時に、社會の上中下を通じて、相性日取等の事に重きを置き、また社會上の地位に就て考慮するやうである。相性の事は昔究理に長けた支那の學者が、陰陽五行を說いて、生れながらにして人に木火土金水の性を附し、陰陽十干方位の十二支等を配して、木性の男と火性の女は大吉とか木性の男と土性の女は大凶とかきめてあるが、天あつて地を生じ、地あつて人を生じたるからには、自然その影響を受けやうが、それよりも分り易い手近な事柄に注意を拂つてはどうであらうか。當事者の系統、遺傳、體質等に重きを置く事の方が、手近であつて一層必要であると思ふ。社會上の地位は配遇を撰ぶには有力なる一條件でありまた然るべきであると思ふが、所有財產の多少等は、餘りに大なる問題ではなからうと思ふ。子女の敎養や、病氣其の他の備へに事缺かぬ丈けの資產があれば、理想的であるが、それ以上に必要ないと思ふ。嫁入りに携帶する衣服調度の多少等は問ふに足らぬ事であらうと思ふ。

□莊重な結婚の儀禮

第四には結婚の儀禮を重んず

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ることである。僅か六ケ年の義務教育を受ける小學生にも、入學の式がある。高きは三ケ年の大學教育を受ける時には、其の初めに宣誓式がある。これによつて學生の心持ちを引締めて、誤りなからしむるに役立てるのである。況してや一生の間の身の大變化の初めに、どうして嚴格莊重な儀禮が無くて濟まう。一と度これを行へば、もはや取返しのつかぬものといふ事情の下に、置きたいものである。

□犠牲の精神

第五には當事者の犠牲の精神である。以上擧げた如く、道を盡し、順序を踏んで良配を得て一家庭を作つたとしても、結婚後は前に知らなかつた各自の心身の缺點、或は親戚の關係、經濟上の事情等の眞實を知るに至るであらう。然してこれは結婚せるが故に、夫婦として心を許して、凡て己れを包み匿さずに現はしたが爲めに分つた事で、如何に親しかつたにせよ、他人の時代には、一切知らしめなかつたことゝすれば、善かれ、惡かれ、結婚後妻が夫の口より、夫が妻の口より苦情を聞く事は、好ましからぬ事である。且つ神聖な夫婦關係の間には、絕えてその缺點により、離婚によつて己れを潔くせんとの利己の考へに出でず、一生を己れに托せる配遇者の爲めに、犠牲の清い決心を固くして、社會風敎に惡影響を與へる離婚といふ忌はしい行爲を示す人に、己れはならぬといふ決心を抱いて欲しいものである。

五

インスピレーション（五）

洋畫を研究する

埴原久和代女史

▲洋畫家埴原久和代女史をそのお住居に御訪れする。府下の下落合、目白の停車場に近い所である。八疊の客間から庭を見るとダリアに交つて紫色の野菊の花が楚々とした姿に匂つてゐた。小さな池の邊りの白萩に小犬がじやれて轉がつてゐる。

『その白萩は昨年は紅色でしたのに、今年は白く變りましたのでございますよ。私は白萩が好きなものでございますから、昨年ぢう之れが白萩であつたら、白萩であつたらと紅萩を見て言ひつゞけてゐましたので、今年白く咲いたから嬉しうございますの。』と微笑して仰有つたのは女史であつた。女史は桑港總領事埴原正直氏の令妹で、栗原玉葉女史と共に女子美術學校の二秀才と呼ばれた方である。小太りの藝術家肌な方。

最近の埴原久和代女史

▲『私は何か描いてゐる間ぢうは常にインスピレーションの繼續だとも申されませうが、特殊にかうとは申し上げ難うございます。假令へば日本畫家の方達が或るものにうたれて畫題をお撰びなさるやうな、あゝした神秘的な狀態は決してございません。』と仰有つてじつと夢見るやうに空中を見詰めてゐられたが、

▲『左樣でございますね。斯うして畫筆を持つやうになつたのが一つの淡いながらインスピレーションをうけたからなのかも知れません。私は非常に晩學でございますが』とて、女史の幼ない日、その從兄の洋行中專門の研究の傍ら洋畫を習つて歸朝され、その勞作中の一つなる山の景氣を見て、山の頂からほの見える空の色、雲のたゝずまひに恍惚とされ、美しいナとお思ひなすつたとか。いよく專門に何か選ばうとなすつた日、此の時の感じが心の底に目覺めて洋畫に向はれるに至つたかも知れないとお話しなさるのであつた。

▲『よく母などは日本畫だと宜いけれど』と申しますが、洋畫は男性的なもの故自然と荒くなるから、お優しい婦人方には少し無理ですしまた物事が荒つぽくなり勝ちでございます。日本畫の方は緋毛氈の上に座られてそれ自身が畫のやうに美しいのですが、私などは何の着物も繪の具の汚點のつかないものゝないほど薄すきたない裝ひで致しますから。』と仰有つて華やかにお笑ひなさるのであつた。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

世間の景氣に洩る〻

貧家の妻女

袷仕度を案ずる昨今

庭の木立から病葉が落ちてカサコソと寂しい音を立てゝ土の上を走るやうになつた。秋が來た。單衣の裾が肌に寂しい秋が來た。世間の景氣はよくなつたとは言へ、お米の値が上り、木綿物が高くなり、味噌や醤油に至るまで値上げされた今日、袷着る日に貧しい人達はどうするだらうと思つて、或る裏長家を訪れて見る、其處は世の底をのみ這ひ歩むやうな人のみの集つてゐる巷であつた。初めに行つたのは木賃宿の一室である。廊下を隔てゝ便所と向ひ合つてゐるので、入口に立つてゐても臭氣が甚だしい。木賃宿と言へば體裁よく聞えるが實は一種の間借りで、一疊敷の板の間に醤油で和へたやうな疊か二疊敷いてあるきりの小さな部屋、押入れもなければ電燈もない。この三疊敷きのうす暗い部屋に四布布團が二枚ついて一日十六錢の間代である。私は客とお神さんとの話を立ち聞きする。お神さんは麻つなぎをしてゐる。

客『あなたの方は何人家内だつたかね。』

お神さん『あなた、此の春の末に生れた子供を加へて六人家内ですよ。ウヨ〳〵して居ります。』

客『上の子は何歳でしたつけ。』

お神さん『九つになります。けれども一向に役に立ちませんので仕方がございません。一番末の子はまだ七十日許りですが早智慧で、もう隨分可愛らしくなりました。』と言つて裾の方の破れた袷の上に袖無を重ねた子を膝の上であやす。

客『ほんとに大きくなつたね。暖かさうに着物を重ねさせてあるね。あなた達は冬の仕度は何うするかね。少しは目的がついたかね。』

お神さん『何うしてあなた、お屋賃と食ふことがやつとなんですよ。毎日お米が二升は要りますから。』

客『二升要るの。ぢやお米だけでも大變だね。だがあんたの方ぢや自分の家で焚くの。』

お神さん『近頃はお米では大變ですから兵隊屋敷の御飯（殘飯）を買つてゐます。でも一食に十五六錢は要りますから大變です。』

客『一食に十五六錢とすると一日に四十錢以上だね。それにお副食物だつて買はねばならないだらうし、三度三度食べられるかね。お父ちあんの仕事は近頃あるかね。』

六

お神さん『まだ定まつたものがないので苦しんで居ります。近頃は河の中に這入つて金物を拾つてゐますので四五十錢にはなりますが、冬になれば寒くてそれも出來なくなりますから、一日にどうしても六七十錢なければ間に合ひませんので。』

客『何か早く仕事が見付かると宜いがね。あんたの麻つなぎを十錢と見積つて六十錢、あなた達は二度でも子供は三度食べねば承知しないわね。』

お神さん『全く左樣でございます。』

客『で、着物は少しは質屋にあるかね。』

お神さん『子供の物が二枚ばかり大事に流れないやうにしてありますが、他は全くまだ的がございません。』と言つて邊りを見廻す。壁に下げてある竹棹に冬のショールが一つと、鼠色の手拭が一筋懸つてゐる。納ひ場所のない部屋であるからにはそれが彼等の全財産であらう。板

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

の間には七輪が一つとブリキの藥罐が一つ、目の荒い笊に茶碗が三つばかりと割箸が五六本、それに醬油の空瓶が一本とお櫃が一つ。その他にはお盆もなければ炭とりもない。麻つなぎに用ゐる剪刀はあるが、針箱らしいものはなくて、子供は袖附けの破けた着物や裾の破けた着物を着てゐた。御飯を食べないことを言つても平氣であるのに着物のことを言ふと顏を暗く曇らせて不快らしくするのも一寸普通の常識から見ると不思議だつた。

次ぎに行つたのは四疊半長屋であつた。其處は一昨日引つ越して來たばかりの家、家の隅には大きな葛籠が一つあり、入口に並らんでゐる流しには、素燒のお釜が洗つてあつた。奥の壁には新らしい印半纏が懸つてゐる。お神さんは三十七八かと思はれるのにまだ三十一二だとか三つになる娘の子がある。

客「あなたの方はまだ新らしい家だね。」

お神さん「引つ越して來たばかりで漸く片付いた所でございます。」

客『さうですか、道理で初めてお目にかゝるやうな氣がする。御亭主は決つた仕事がありますか。』

お神さん『幸ひにございます。けれども私も此の子を預けて專賣局へでも出やうかと思つて居ります。出るばかりに手續きを濟ませてありますから。』

客『それは宜いことです。人は丈夫な時に働いておかねば勿體ないからね。』

お神さん『えゝそれもさうですが、實はもう一つ譯があります。それは私は今姙娠中ですのに、この娘の子が腹の子と父親が違ふので、何かと面倒ですから、働ける間なりとも働けば子供の爲めによいと思ひまして。』と言つて傍にゐる女の子をしほ〳〵と見やる。

客『で、お產は何月ですか。』

お神さん『來年の二月頃だらうと思ひます。』

客『產婆に見て貰ひましたの。』

お神さん『まだ引つ越した許りで誰れにも見て貰つて居りません。』

客『知り合ひの產婆さんがありますか。』と言ふと、お神さんはいえと答へた。すると向ひのお神さんが私達の知り合ひの產婆がゐるから安心なさいと言ふ。

客『その產婆は何程で來て吳れますの。』

隣のお神さん『大抵五十錢くらゐ上げて居ります。』

話は續いてゐたが私は其處を去つて古着やへ寄り近頃の景氣を尋ねると、冬物はまだ一向出ないと言つてゐた。（民子）

消化劑としての味の素

日本消化機病學會雜誌第十六卷第二號に臺南醫院氏原均一博士及片平重次氏の發表したる『再び「モノアミノ」酸屬の「デアスターゼ」催進作用に就て附『味の素』の澱粉消化作用に及す影響に就て』の一節に曰く

「アラニン」「グリココール」「グルタミン酸」味の素は5%可溶性澱粉液中に僅に10%の微量を以てするも既に各種「デアスターゼ」の糖化作用を著しく增進せしむ。

坊間鬻ぐ所の「味の素」は吾人に美味感を與ふる「グルタミン酸を約50%含有するが故に澱粉食を主食とする吾人には缺く可からざる消化催進劑にて特に重症患者にて食志缺損せる場合には唯一の味附兼消化補助劑なり。

七

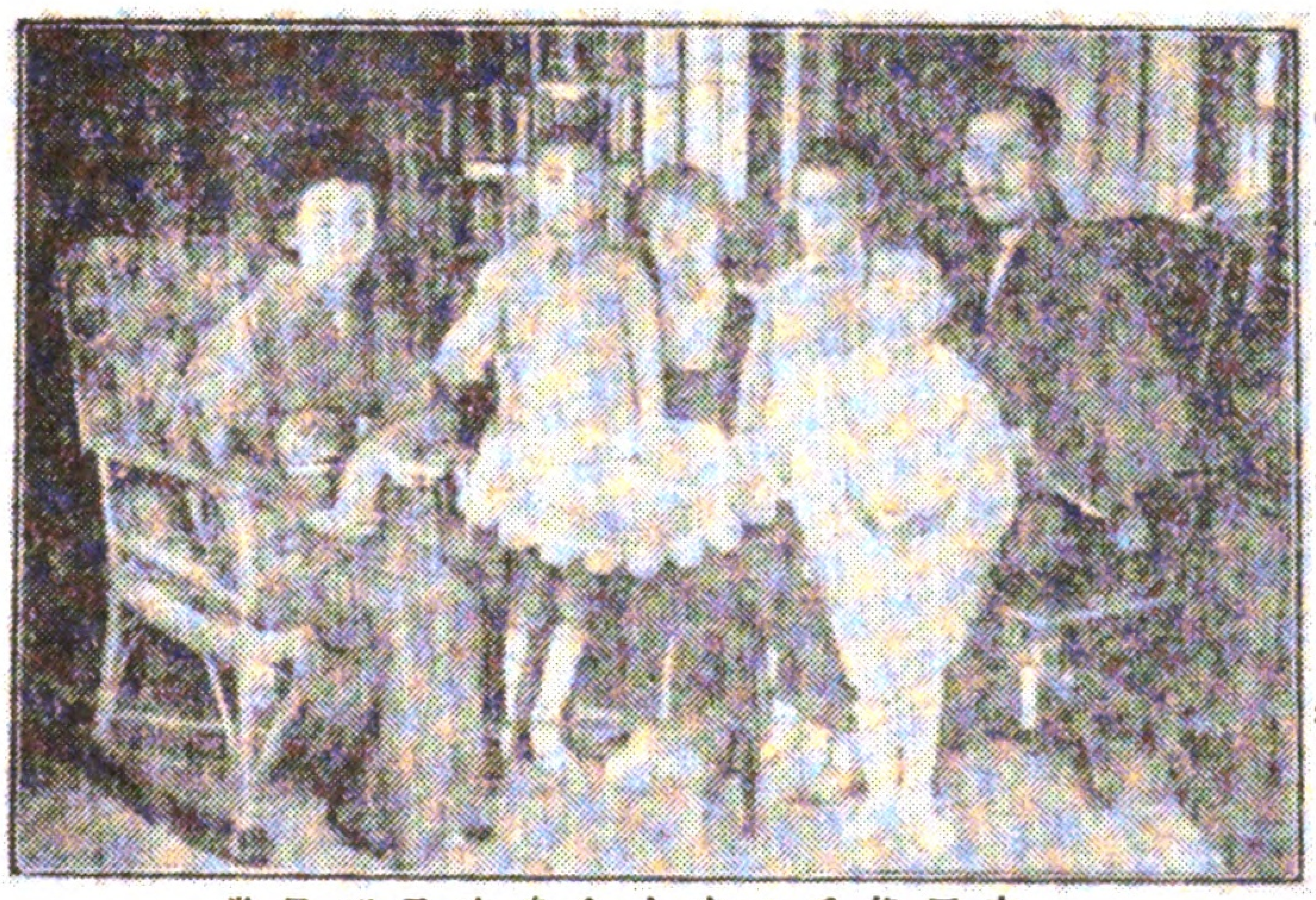
Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人界開拓者の家庭訪問（四）

宮田脩氏とその夫人

▲『ハヽヽ隨分皮肉なことをお初めなすつたものですね。私の家庭は紺屋の白袴で、全くどうも面目がございません。』と突き抜けるやうにお笑ひなすつたのは成女高等女學校の校長宮田脩氏であつた。『どうも私の家庭生活は實際お答への致し方がありません。それは理想もあるし、色々考へてゐることもないではないけれど、學校の方に殆ど自分の時間をとられて了つてゐますからね。』ともう一度お笑ひなすつた。それは見晴らしの宜い二階の氏の書齋で、窓から明るく朝日が流れ入つてゐる。お出かけの前なのでフロックを召してゐた。

▲『此の書齋だつて、』と氏は言葉をつゞけ『少し周圍の雑事から遁れて勉强したいと思つて、工夫して建てたのですが、此處にゐる事など殆どなく、徒らに塵が積るばかりです。ですから全く今の處は零なのです。』と又笑はれる。奥様にも此處で御一緒にお目にかゝりたいとお願ひすると、『ハヽヽ家内はさぞ不平を並らべることでせう。私は芝居を見に行つた時よく三宅雪嶺博士が夫人と同伴で來られてゐるのに合ひ、美しいとも思ひ、羨しいとも思ひますが、また自分もさうしたいとも思ひますが、何しろ時間が許しませんので獨りで行つて了ひます。』と仰有る。が、御家族御同伴で觀劇なすつてゐるのを屢々お見受けすると言ふと、『事情の許す限りは少し時刻は遲れても行くやうに努めてゐます。』と眞意を吐露される。



宮田脩氏と夫人令息方及び母堂

▲氏にお別れして別室で夫人に會ふ。色の白い、細面の夫人は艶やかな黒髪を丸髷に結んでセルの單衣を召してゐた。水色の手柄が品よく丸髷の下に照り映える。

『私は主人の前でお話をするのは大嫌ひでございます。』と仰有つて微笑し、『私の家庭は各自に各自の自由を尊重して居ります。老母は老母、主人は主人、子供は子供、婆やは婆や、決して互に束縛を致しません。ですから私の一日は家庭の主婦でありながら年中一日として同じ様式の日を送ることはないほど變化に富んで居ります。そして學校の卒業生の方達がよくお訪ね下さいますので、其様な方と私は友達になつて騒ぎます。主人は教育者でも私はさうではないのですから。』と言つて言葉を切り、『母は相變らずよく勉强致します。そして何處からとなく本を集めて來て私に讀め、讀めと親切に申しますが、どうも悉く讀むことが出來なくて面目がない位ゐでございます。』とて今夏お子様御同伴で伊香保へ行かれた時毎日歌十首讀むべしと言ふ葉書が行つたとか。實に特色のある面白い方達のお寄り合ひだとも言はれやう。私はお別れしてから、『紺屋の白袴で面目はないが、今私は教育者と言ふものが職業であるから、自分にはすつかり實行は出來てゐない迄もその理想とする最も宜いことを人に教へてゐますが、漸次に自分にも致します。』と氏が仰有つたことを考へた。

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

悲しき餘生を華やかに生くる

亡き勇士の妻

池谷勢運子女史

□博覽會に働く美粧師

目下開催中の上野不忍池畔、化學工業博覽會の某館の中に、一人の美粧師が居ます。いつも辨慶縞の仕事着に包まつて、賑やかな外觀も知らぬ顏に、せつせと入り來る婦人客の顏を見違へるやうに美しくして居ります。美粧師は名を池谷勢運子(刀)と云ひ、極めて快活で時々輕い洒落を云つては、思はず椅子の上に目を閉ぢたお客樣の頤を解かしむる人、一脚の自在椅子と小形な二つの姿見と、小さな棚に並べられた化粧品、それに隅に陣取つた長椅子とが配置よく狹い室を滿たし長椅子と客用の自在椅子との間には細い針金が張られ、可愛らしい鴇色の幕が、端の方へ追ひやられてありました。小窓の外はぞろり〳〵と群集が目的地さして練つて行く、本當に横も向かないで博覽會內の光景を胸一杯に描いた人達がつゞいて行きます。お向ひの賣店では變つた意匠を凝らして客足呼んでゐます飴菓子屋の店では、ごとり〳〵と騷がしい音をたてゝ、機械が飴を吐き出して、人間がそれを三角袋へ詰めてます。それだのに此室ばつかりは、ほんとにしんみりとした靜けさを守つて、花園の中に居る樣な芳香に包まれて居るのです。場內を廻つて來た、化粧くづれのお客樣がこゝへ來て、軟い椅子の上にほつと息をつき、温いタヲルで蒸され馥郁たるクリームで、洗ひ清められて出て行きます。刷毛に含まれた石鹸の泡が、今お客樣の襟を洗つて少し殘つて居ました女史の手の刷毛はどう處分せられるのかと思つたら、

池ヶ谷勢運子女史

「持つて行きどころがないからつけちまはう」と獨言ちながら、御自分の頰から鼻から泡だらけにして、姿見の前へ立つて擦り始めました。も一人の助手らしい婦人は「マア……」とあきれる樣に笑ひました。

□新らしい生活の開拓

奇麗になつてから女史は云はれますのに、「これはねまだ名がついてませんけれど拵へる時には隨分と苦しい研究をしました」と示された罎の中には、淡桃色の匂ひのいゝクリームが透けて見えました。花の紅唇を彩るに相應しい棒紅は、花から拵へたのださうです。斯うもしたいあゝもしたらと氣を揉む女史はほんとに、此職業が自分自身の全體だといふ樣な熱心な研究家であります。どうした動機が女史を此境に置いたのでせう!! 對坐しながら私はふとそんな事が考へられました、女史は未亡人であります、未亡人と云へば暗い切り下げの抹香臭さい匂ひさへ思ひ出されますが、女史の未亡人生活は活躍的な努力的な眞に新しい生涯に向つて開拓されたのであります。此夫ありてこの妻あり、女史の夫君は去ぬる戰に赫々たる勳をたてられたる常陸丸の勇士であります。二人の遺兒さへ托せられ、今は、父君母君と共に、圓滿な家庭の礎を据えて居られます。

□昔宮仕への緣をもて

なほ女史は此職業を以つて各宮邸へお出入として居られる。尊き邊りの御婚儀の折など、女史の多忙さは、筆紙の外ださうです。

九

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

「ほんとに何の價値も無い私の樣なものが、尊い御身邊にかしづかれるといふのは何といふ結構な運命に置かれたのでせう—」女史は常に斯う云つて感謝の念に自分の過去を顧られるのでした。女史の若かりし日は、北白川宮房子内親王殿下のお附役であつたのです。麻布御殿のありしよき日をしのぶ樣な瞳を、昵と鏡の中へ映して、お美しいお情に厚い殿下の御人柄などを思ひめぐらす、其身は今斯うした場所の此中に、尊い昔の名殘を思ひ遣つては、ホ……ッと口をつぐまれます。餘りお近く使はれて居りましたので、世上に問はるゝまゝに何事もお話申上げるのは、眞に勿體ない事ですから……さう答へて女史は遂に口を開かれないのでした

口新式化粧術の擴張の爲

婦人の身としてふさはしい此職業が段々にふえて參りました。其中に女史は一人斯る光榮を有なふてどんな華やかな生活振りであらうと、先づ想像なさる方があつたら大間違ひ、女史はほんとに質素です。お齡よりはづつと老けた縞柄や色を好み、白粉氣の無いすつきりとした顏は健康さうに輝いてます。

「でもね私かみ結さんて呼ばれるといやな氣持がしますの……實際さうには違ひありませんけれど、まだ私の心のどこかに古るい矛盾の固まりが殘つてるのでせうか」

女史はかう云つて頸を傾けられました。そして劇場の中で女史の母君が向ふの方から大聲で「髮結さんのおばさアーン……」と呼びかけられて、返事もされずとぼけて歸られた話などを、面白く話されるのでした。

多忙な女史はなほ新しい企を抱いて居られます、それは御自分の新式化粧術が、單に高貴の方々のみに用ゐらるゝのみでは滿足されず、一般婦人間にも擴張したい趣意から近く場所を選定して美粧學館といふものを開きたいといふ事でした。彼方此方と馳せ廻つて場所を見たり、建具はいくら、家賃はと……こんな事まで明細に頭腦を惱まして居られました。その外がわには呑氣さうな見物人の連續が斷たれもせずに窓から詠められるのでした。(佳子)

讀者から

ルゝドの聖者に見えて

黑崎えつ子

私は去る日一人の妹が音樂家てふ名のはしくれに加つた緣で、隱れた佛國の音樂家天主教の神父を小石川關口臺町の教會に訪づれたのは或る日の夕暮れでした。此處は佛國の領地ルゝドの巖窟をその儘形どつた禮拜所があるので、有名であります。

△草深い道を辿り行くと、學校と寄宿舍がある、その石段を上つて廊下の突き當りをノックすると、白髮白髯の黑服をまとはれた見るからに神々しい神父さまがあらはれた。一通の添書を出すと、莞爾として、快く事務室に案内して、[illegible]談話はしばし交換された。神父は音樂を基礎として廿五年間、我國の貧兒の教養に餘念ない崇高の聖者であります。神父の語らるゝやう「御國の家庭は夫が死ぬと妻は子供を養育できませんでせう、そして自分は再緣します。

△子供は孤兒　になります。私に引取りまして大人にします。御國の婦人に夫が死ねば氣の毒な狀態ですね。昨今も隨分申込みが多いのですが、今は戰爭中で國から金が來ませんから、五十名と限つてあります」と。私はこれを謹聽して、只々感淚にむせびました。あゝ廿有餘年の星霜を、異鄉遠かに、貧兒と寢食を共にし、教養に、和樂に、慈父の如き獻身的努力をルゝドの靈泉を汲みつゝ盡さるゝ熱誠に、只感謝の意を表するのみでは物足りません。我が國民がこの事業を他國人に賴んで安閑として居らす、一般の人々もどうぞ折々たづれて、その

△御恩を感謝　し、何等かの方法で報恩の萬分の一をつくしたいと存じます。同時に日本婦人が孤兒を捨てゝ再緣する如きみじめさを、聖者の口より洩さした くないと思ひます。そして能力と體力によつて生き得る力を養ひたいと存じます。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

路傍樹の美觀

道路を庭園化したい

斬雲生

□梧桐は王樣格

篠懸といふ樹は、今年あたりは大分成長して、可なり葉も出來ました。なる程立派な樹には相違ありませんが、珍らしい處が評判になつた位の事で、從來の梧桐に比べるとずつと品が落ちます。鳳凰が棲むと言はれる丈けに、梧桐は路傍樹の王樣です。木の肌の青味も目に氣持が好く、冬には坊主刈りに枝を拂つても、翌年の夏には新枝が傘の樣に伸びて大きい葉を着ける處は、路傍樹として甚だ適當です。掃除するにしても大きい葉は樂です。眞夏の日蔭を作る事に於ても梧桐が一番好適に見えます。そして其成長發育も他の路傍樹に比して一番佳良です。

私は葉の路傍樹としては梧桐を第一に推します。

□柳櫻をこき交ぜて

だが、花も葉も兼ねた櫻は、路傍樹としては梧桐の上に置く價値があります、日本は櫻花の國、東京は櫻の都です。花に就ては言ふ迄もないが、葉櫻のトンネルも實に立派なものです。唯だ秋口になつて、櫻の葉は些ときたないものになるのが瑕と言へば瑕です。

次に在來の路傍樹としては柳があります「柳櫻をこきまぜて……」と謠はるゝ丈けに、濠端に長く枝を垂れた柳の路傍樹は優しい風情に富んで居ます。又橋の袂や交番の前などには、柳は大變能く調和します。殊に雨の夜の街燈に映ずる濡柳の風情は十分の魅力があります。私は路傍樹としては矢張從來の櫻、柳、梧桐を好みます。之に次ぐものは篠懸です。

□銀杏と楓樹は失敗？

此他近年試みたものには銀杏楓樹などがあります。銀杏はお宮の境內などには、十丈の巨人として晝も影暗く伸びて居る處は、實に堂々たるものですが、目下路傍樹としては、葉も枝も萎んで色澤も惡く、砂ほこりに塗れて汚ないものです。あれでは到底十丈の巨人になれそうもありません。それに枝も葉も傘式に伸びず、上へばかり細長く伸びる處は具合が惡いのです。但し又、十丈の巨人になり得たとした處で、電線の邪魔になり店の內部が暗くなり、且つ秋になつて澤山の葉が落ちたら掃除が大變でせう。次に楓樹も路傍樹としては育ちが惡く、且つ背丈が餘り低くゝて貧弱です。山にある樣に美しく紅葉もしません。同じ楓樹の一種でも「タヤ」といふのは、枝振りも樹の肌も葉も一段落ちるもので、唯だ薪木となつて樫に劣らぬ堅い木材を供する處が取柄なので、路傍樹には不適當です。市ケ谷見附と四谷見附の間にあるのは此の「タヤ」です。

□道路を庭園化したい

私の希望を申せば、路傍樹は櫻、柳、梧桐を主として、其間々へ、適宜に種々の樹木を植ゑる事です。之に依つて樹木に關する智識を與へる事は一擧兩全であり、且つ趣味上から言つても、目が飽かなくて好からうと思ふのです。紅葉樹としても東北の錦木や、九州の櫨などは楓樹以上に立派なものです。斯うして各種の樹木を植ゑると、市街は一層立派な庭園になります。そして其根元へは戸々草花を植ゑる習慣にすると、立派な道路庭園が出來ます。都會は餘地が少ないから道路を直ちに庭園化する事は甚だ望ましい事なのです。

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

夜着と毛布と何れが徳用か

佐久千代子

夜着布團の手入れに、家事の中の最も面倒なものであります。さらば其の勞作を省く爲めに、毛布を用ひたらば、どうかといふ事につき、その長短を佐久夫人に伺つて見ました。

□全部新調するとすれば

今此處に全部を新調するものとして見積れば、二枚掛の白毛布一枚の時價は最低のもので八九圓からあり、色ものならば五圓位ゐからあると申します。然し品は白よりは幾分落ちて居ります。布團代用にはこれ等が三枚程あれば間に合ひますが、度々洗濯しなければならないので、耐久力はせい〴〵三年乃至四五年位ひのものであります。勿論三枚が三枚、四五年目には役立たなくなると云ふ事もありますまいが、先づ一枚平均は惡くなるものと見做さなければなりますまい。以上は綿入り毛布ですが、眞毛ものならば、色ものでも十圓から、白は十六七圓から、舶來の上品は三四十圓位ゐ出さなければありません。

□經濟上の比較

勞力を省く上からは毛布を用ふるのが最も簡單に相違ありませんが、これを經濟上から布團と比較して見ますと、普通平常用として、紡績で作ると表が一反二圓五六十錢乃至三圓五十錢、裏地一圓六七十錢、綿一貫目として三圓内外、計八圓内外、二枚作つて充分に見積りました處で二十圓かければ蔽ひ迄作つて置く事が出來ます。また工夫に依つては安價に作る事も出來ますが、毛布二枚調へれば白の最低のもので見積つても二十五六圓かけなければなりません。これ丈けの金をかければ、從來の布團なら搔卷まで新らしく作る事が出來るのです。

然し新らしく家庭を持つ人は敷布團の代用に藁布團を、掛布團には毛布を用ひた方が至極便利ですが、古い習慣のしきたりをする今迄の家庭では、段々に廢物も澤山出來、從つて其等を利用すれば手入れの時一時に新調しなくても濟むと云ふやうな關係上勞作も省き度いには違ひありませんが、經濟の上から急に取り替へる事は困難ではありますまいか。それに一つに布團と云ふ形に親しみを持つて居るのも、重みが無ければ溫味が少ないと云ふやうな一種の迷信も、確かに改良を妨げる一つの原因となつて居るやうに思はれます。

□布團を用ふる時

布團を用ふるとして、手數を省くには全部に覆ひを掛けて置くのが最も輕便らしうございます。汚れた度毎覆ひ丈けをとつて洗へば、毎年全體の洗濯をする必要はありません。敷布團と掛布團は手入れと申してもまだ樂ですが、夜着は實に面倒ですそれに日常の取扱ひにも不便であり、方々私は夜着は用ひなくて掛布團のみを用ひて居ります。

十二

化粧問答

問　私は白粉を塗つても何時も直にムラが出來たり、鼻の上がはげたりするのですが、何か宜い法はないでせうか。（芝芳子）

答　白粉は何をお使ひか知りませんが、クラブ白粉のやうな上等の白粉なら斑になつたり剝げたりする心配はありません。尙、白粉を塗る前には是非クリームを附ける必要があります、以前は堅油を顏へ塗つたものですが、臭氣がある爲め此頃では使ひません、今では皆一番よくきくアレ止日焦け止め兼用のお化粧下クラブ美身クリームをお使ひになります、クラブ美身クリームを少し掌に取つて襟から顏へかけスッカリ斑のない樣に擦込み、夫からノリも延びも天下一品の稱あるクラブ白粉を叮嚀にお塗けになれば、ムラも出來ず又お化粧の持ちも一番宜しう御座います。

問　私は眉毛が薄いので、色々な墨を使ひましたが、反つて毛が脫けて困る

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

三十錢で出來る客膳

川崎まさ子

これは極く手輕な客膳のお料理で一人前が僅か三十錢で作られます。左に献立と料理法をお話しいたしませう。(但し十人前分として)

□栗めし　米一升(廿七錢)、中栗五合(十五錢)、醤油七勺(三錢)、鹽茶匙一。

先づ中栗五合の澁皮を剝ぎ、三つ位ゐに切つて二三度水を取り替へながら晒します。米は普通の水加減にし、此の中へ前の栗と醤油七勺、鹽一匙とを入れて炊き、吹き出した時に一度釜の中を掻き混ぜて平にし、火を細くして普通にむらします。

□椀　すゝき切身十切(七十錢)、めうがの子(二錢)、初茸(十五錢)、莢陰元(二錢)、口抽子(一錢)、鰹節出汁五合(鰹節二十匁として十七錢)

すゝきは三枚に下し、小骨と薄身とを取り去り、二寸位ゐの角に切ります。そしてからめに鹽を振つて二三十分經つてから鹽を洗ひ落し、竹の皮を敷いた蒸籠の中に入れて蒸します。めうがは細かく刻んで一寸醤油につけ、初茸は鹽水で洗つて二番出汁で下煮をし、莢陰元は細びいて鹽湯で茹でます。以上のものを適宜に椀に入れ、鰹節出汁を上から注ぎ、吸口にへぎ抽子を入れます。

□皿　さばの酢むし(大鯖二本五十錢)、無果花の砂糖煮(無果花十個五錢、砂糖一錢三厘)

鯖を三枚に下し、小骨を除つて二三十分鹽にあてた後一寸酢につけ、肩の處から皮を剝いて適宜に切つて置きます。尚ほ二三ヶ所に庖丁を入れ、蒸籠に竹の皮を敷いた中で蒸します。蒸し上つた時酢を上から振つて下します。無果花は茹でゝ水氣を去り、皮を剝きます。これをとろ火にかけ、大匙二杯の砂糖を入れて煮るのです。そしてよく汁に浸して置きます。皿に鯖を盛り無果花を一つ宛添へて出します。

□小鉢　茄子の時鳥燒き(茄子小三十個三錢五厘、)鳥肉百目(五十錢)

小茄子を擇んで皮を剝ぎ、縱に半分位に迄庖丁を入れます。鳥肉は薄く切つて一寸醤油につけて置き、前の茄子に挿みます。其の茄子に胡麻油をつけ、櫛を二本さして燒き、更らに醤油を二度ばかりつけて火に乾し、三個ばかり小鉢に盛ります。

□口取　吉野葡萄(砂糖廿目三錢二厘、上葛二錢、黑葡萄二錢五厘、)冬瓜卷(冬瓜二錢)さつま揚げ十個(廿五錢)、小松菜松風和へ(菜二錢、けし五厘)

五十匁ばかりの黑葡萄の粒をよく洗ひ、した〱位ゐになる程水を入れ、よく煮えました處で袋に入れて汁を十分絞ります。この葡萄の絞汁五勺、水一合、葛五勺、砂糖廿匁と入れてよく掻き混ぜ、葛が溶けた所で鍋に入れて半練にします。白くばさ〱になる位ゐを程度として、瀨戶引の辨當箱に入れ、杓子に水をつけて平にし二十分ばかり蒸し、中迄すつかり透き通るやうになればよろしいのです。これを適宜に切つて置きます。冬瓜は縱に半分に切つたのを横一寸五分位ひの幅に切り、皮といゝわたを除き薄く一分位ゐの厚にへがして二番出汁で一寸下煮をします。さつま揚げは細く切つて冬瓜で卷き、鍋に並べて二番出汁の薄したぢで薄すらと味をつけます。小松菜は鹽湯でよく茹でて水に晒し、一旦絞つて醤油を少しかけて置きます。掛汁は出汁と醤油とを半々位ゐの割合にして、西洋辛子と芥子の煎つたのを入れて作ります。そして醤油に浸けてある小松菜をかたく絞り、奇麗に揃へて適宜に切り、上から掛汁をかけて、又一寸絞つて三品を盛ります。口取の盛付けは、赤いものがいつでも右に來るやうにするのが例ですから、この場合も吉野葡萄を右につけます。

て居ります、何か良い品はありませんでせうか、(神田　美代子)

答　如何はしい品をお使ひになると益々毛が惡くなる計りですから今度クラブ白粉本店から發賣されたクラブまゆずみのやうな純良な品を用ひ形をよくお作りになりますと、如何にもわざとらしくない自然の蛾眉を現はし、眉毛の爲めにも一番宜しうございます。

問　私は顏を剃るのが嫌ですから白粉が乘らないで困ります何か化粧法はありますか、(麴町　幾子)

答　ムク毛のある方には煉白粉は乘り兼ねますが、何も煉白粉を使はずとも美しいお化粧はいくらも出來ます、先づクラブ美身クリーム(又はクラブ美身ゼリー)をお化粧下としてお引きになつて其上へ、クラブ刷白粉をポットで押へ加減に刷付け、別の刷毛で浮いた粉を拂ひながら輕く撫で延ばし搾りタオルで眉毛、睫毛などの浮粉を取りますと、瀟洒としたお化粧が出來上ります。

十三

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

自然兒（十八）

ジャツクミニジル（上）
琴子

或日デビッドはヴアイオリンをさげて、ぶらぶら敎會の方まで歩いてまゐりました。すると裏の方で「ワイ、ワイ」言ふ聲がきこえて來ました。飛んで行つて見ると、うしろの廣い原で、デビッドと同じ年頃の男の子や、女の子が大勢、面白さうに遊んで居ます。いつもとちがつて、今日は珍らしく一人の男の子が、うれしさうに「やあ、胡弓彈きが來たよ。」と言ひました。他の子供も聲を揃へて「やあ、お出で」と言ひました。

デビッドは仲間に入れて貰へると思つて、ニコニコしながら「今日は！」と言ひました

子供は「今日は！」「今日は！」と口眞似しながら、デビッドのまはりに皆集つて來ました。短かい棒切を持つて居る子が澤山ありました。一人の子供は空罐に紐をつけて持つて居ました。一番大きい男の子は上着の下に何か入れて、しつかりつかまへて居ます。一人の子が「おい、胡弓彈きさん、彈いておくれよ」

「僕、デビッドつて言ふ名だよ」デビッドがさう言ふとみんなが一度に

「デービッド、デビッド、お前の名はデビッド」歌のやうに節をつけて言ひ出しました。

あんまり、をかしいので、デビッドは笑ひ出しました

「もう一ぺん、歌つてごらんよ、面白い節だよ。」

デビッドが少しもおこらないのを不思議さうに見ながら、みんなは又大きな聲で歌ひ出しました。

「デービッド、デビッド、お前の名はデビッド」

「おい、お彈きよ、踊るから。」

「僕に彈けつて？あゝ、いゝよ彈くとも。」

「あゝ、待つた！待つた『踊り子』の用意が出來ないよ。」

一番大きい子供が、上着の下から紙袋をかぶせた小猫を出しました。空罐を持つて居た子が「眞中で踊らせるさ。あ、まつたよ。これをしばりつけるよ」さう云ひながら、猫の尾に罐を結びつけました。

ヴアイオリンを彈いて居たデビッドは、一寸その樣子を見て驚いてよしてしまひました。

「君達何をするんだい？その猫どうしたんだい。」

「どうもしないんだよ『踊りつ子』ぢやないか、早くお彈きよ」

「僕、彈かないよ、痛いつてニャーニャー云つてるぢやないか、怪我をさせるよ。」

「おい、いゝよ、早く彈いておくれ、踊らせるんだよ。」

「僕、そんな事するなら、どんな事があつても彈かないよ。」

「エ？何だつて？」

「僕、彈かないて云つたのさ。君等があの猫逃してやらなけりやあ、彈かないよ。」

「何云つてるんだい。ぢや、己れ達がにがしてやらなかつたら、どうするんだい。」

「僕がにがさして見せる！」

デビッドは眞赤に怒つて、こう云ひました。

子供達は平氣でした。一番大きい子が手を離しますと、猫は袋をかぶつて、罐をつけて、ぐるぐるぐるぐる狂ひまはりました。子供達は手を拍つて喜びました。一人の子がデビッドの顏を覗き込んで

「おい、どうしてやめさせないんだよ、逃がさせて見せるつて云つたぢやないか、おい」と云ひました。他の子もみんなでデビッドを馬鹿にして顏を見て居ました。

デビッドは身動きもしないで、默つて考へて居ましたが、思ひ出したやうにかけ出して行

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

きました。みんなは「やあい」と囃したてました。

けれども、デビッドは材木の上にヴァイオリンを置きに行つたので、すぐ又歸つてまゐりました。今度はいきなり大きい子の痣の處をなぐりつけました。男の子は「ワイ、ワイ」云つてデビッドにかゝつて來ました。

月夜の市（下）

波留子

彼女は呼吸をはづませて顔を眞赤にしながら興奮した眼差を輝やかせて女神達の市場を隅から隅へと駈け廻りました。一品毎に定りの髪の毛一筋を渡しながら、それからそれへと燕の樣に珍らしい代物の間を飛び廻るのでした。けれども買へば買ふ程欲しいものが跡から跡からと出て參ります。

指輪を買へば腕輪が欲しくなるし、腕輪を手に取つて見ると頸飾が買ひたくなります、一つの慾を滿足させると又一つの新らしい慾が頭をもちあげます。『銀の帶は黄金の帶留を欲しがらせる』と俗に申しますが眞實で御座います。

ジャックリンヌは夢中になつて買物をしながら同じ樣にお錢に通用する髪の毛一本を引ぬき引ぬき、漸々と額際が薄くなつて行くにも氣附かずに夜明迄彼か是かと買物をして廻つて居りました。

ふいと彼女が額に手を遣つたと思ふと稀有とい叫びを出しました。けれども氣が附いた時にはもうどうにもならない事になつて了つて居りました、肝要の鬘を買はなければならない只だ一本殘つた髪の毛まで金剛石を鏤ばめた美事な櫛を買ふのに使つて了ひました。

是はと驚く間もなく朝日が東天ににほはしく登つて、女神達はさも〳〵可笑しさうな笑ひ聲を跡に殘して何處ともなく朝霧のやうに姿を消して了ひました女の生命と云つてもよい貴い髪の毛にかへられたものはと見ると、どれも是もごまかし物斗りでジャックリンヌの手には枯葉だの苔だの塵芥だの藁屑だの握られて居りました。

それから長い事此國でジャックリンヌは人々のよい誡しめとなりました、老人達は物を欲しがる若い娘達に「お前もあのジャックリンヌのやうにはげになるでせうよ、女の欲しいものは頭髪の毛より數が多いのだからね」と申します。

皆樣、もし此世で幸福に樂しく生活したいといふおのぞみなら總ての慾望に制限をつけなければなりません。足る事を以て滿足する良習慣をお養ひなさるなら、失望も不愉快も、決して貴女方を襲つては參りませんでせう。

ジャックリンヌは死ぬ迄恥かしい思ひをして人の笑はれ草になつたり、嘲けられたり、ほんとに立派な生き恥のさらしものでした。（をはり）

子供のせかい

大學の先生方の動物の靈祭り

本郷の帝國大學では、學問をするのに、モルモットや兎其の他小鳥などを一年に十萬疋も殺さなければなりません。この動物のおかげで、今迄わからなかつた事を見出して、人のからだに考へ合せ病氣を助けたり、裁判の證據をはつきりさせたりすることが出來るのです。それで過る三十八九年間こうして亡くなつた動物の靈を祭らうと、片山博士が先立つて、澤山の學者達が集り、本郷のりんやうじといふお寺で廿二日靈祭りをして「學用動物之靈」といふゐはいをたて、其の恩にむくいました。

* * * * * * * *

十五

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

小說

犬と彼等（七）

高田てい子

書齋外のある時の清伍は、八ツ九ツの腕白小僧とちつとも變はらない好戯者であつた。彼にはおれいのやうな愛憎の斑點がないかはり、思ひきつて無邪氣にとみを享樂してゐた。

「一寸ごらん下さい、これからおとみ女史のトーダンスがはじまります」

と言つてとみの前足をつかんで、後足で踏らせたり、Kさんの歩きぶりを眞似させたり、インクの空瓶を足に結ひて、それからとみを馳けさせて、ゴロン〳〵と異様な音といつしよに後から追つてくる異様な物體に、とみが驚くのを興がつたり、風呂敷づゝみを腹にまいてやつて、酔ひどれのやうにふら〳〵ころげさしたりする位は平氣であつた。

「あなたはね、どんな時のとみを一ばん可愛いとお思ひになつて？私はね、とみがきちんと座つてね、物ほしそうな顔して私を見あげてる時が一ばん可愛いゝわ」

とおれいが言ふと、

「僕はな、驚いて逃げる時のとみが一ばん可愛いゝ」

と彼はすぐ應じた。

「あの耳を兎のやうに後にくつつけて逃げる時が……？」

「あゝ」

「まあいやだ、あんな格恰…」

「じや一つ嚇かしてみやうか」

それな丁度暑いさかりの午すぎであつた。彼等はどんな仕事にも倦屈してゐた（清伍はとき〳〵講義に出るT大學が休みになるし、毎日ゆく役所の時間もはやくなつたので、午後を大方家ですごした）そしてその時は伯父さんが留守であつた。いくらか遠慮しなければならない伯父さんが留守になると、彼等は氣樂にくつろいでゐた。そのくつろぎからとみを禍ひする惡戯が生れる例はめづらしくなかつた。

「なんで嚇かしませうね、雨傘？」

「さあ雨傘ももう倦いたね、なにがいゝかな」

と彼は考へた。とみはなぜか大變雨傘を怖がつてゐた。雨傘のさきのほうを近づけるとあわてゝ逃げるので、座敷にあがるたびにそれを利用してゐた。なぜ傘を恐れるのかは、三人の大人の想像をあつめても判じやうがなかつた。

「時計はどうだらう」

「目ざまし時計？あれをチリチリ鳴らすのね」

「きつと驚くよ、僕がいつか洗

十六 面器を耳元でたゝいたら驚いてにげたもの」

板張りの玄關でとみはのびのびと午睡してゐたが、「とみとみ！」と主人から呼ばれたので元氣に飛んできた。

「よし、よし、きたか、きたか」

と清伍は膝へとみを抱いて、

「さあとみ！これからいゝ御馳走をやるよ、音樂の御馳走だぞ、贅澤だねとみは……」

と言ひながら、時計のねぢをぎり〳〵倦いて、神經が竦むやうなあのけたゝましい音をとみの耳近くにふりまはした。とみは一瞬間きよとんとしてゐたがすぐ耳をぴたりとうしろに引いて、打ちのめされた驢馬のやうに走り去つた。

二人はすべてを超越して笑つた。

「どうだ、可愛いゝだらう？」

「面白いけど可愛いかありませんわ」

「可愛いゝさ、ぢやもう一度よくみてごらん、とみ、とみ、と

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

み、とみ……」
犠牲者は再び走つてきた、盲目な好意を全身に見せて。そして同じ順序で驚かされて同じ格恰で逃げだした。
「可愛そうに、ねえとみ、とみ！あんなに驚かされたら神經衰弱になつちまうわね」
と、疲れるくらゐ笑つたあとで、おれいは甘いせんべいをとみにやりながら彼りはじめた。
「ほんとに、ねえとみ、とみどんな時のとみが一ばん可愛いゝかなんて誰かゞきくもんだから……」
「そして誰かは、驚いたときのとみが一ばん可愛いゝなんて、すぐ行つてみるんですもの」
「そう、そう、そして誰かは夢中になつてそれをよろこぶんだもの」
こうして彼等はしばらく責任爭ひをした。
夕涼みしながら彼等はまたとみ、とみを見てゐた。とみは廣い庭をひとり舞臺にしてさわいでゐた。竹籔にとびこんだり、短い尻尾をやつと咬はへて獨樂のやうにぐる〳〵まはつたり古い小笊をふりまはしたりしてゐた。
「ちつとも凝つとしてないんだね、人間の子供とちがはないね」と清伍が言つた。
「でもね、考へ顔してなにかを見つめてる時だつてありますよ」たまには……」
「いくらとみでも稀にはもの思ひにふけるだろうね」
「なにを考へるでせう」
「森羅萬象のことをさ」「まさか」
「少くとも、我等は何によつて生くべきか、つていふこと位は考へるだろうな」
「いやな人、どうしてそう出鱈目がうまいんでせう」
「だつておれいさんに飼はれてる犬が、その位のことを考へないやうでは困るじやないか」
「どうもありがたう、ほんとにいゝ皮肉だこと、どうせ……」
「どうせそうでせう」だろう？」
「どうせそうですとも」
「どうせ」といふ言葉は、おどけた怒りを以つて、皮肉と揶揄にむくい合ふ時に大へん調法であつた。彼等はよくその語句——短くかたるのは困難な歴史が——あるので——を、子供つぽい爭ひの終局に用ゐてゐた。

讀者から

豐年の秋

岩手　靜江

毎週の御誌を重ねる毎に眞實なことが心にしみて、誠に嬉しく、心から感謝して拜讀いたして居ります。只今の日本に、かくも精神的に立派な雜誌のあることを思ひませんでした。

朝日の出ぬうち田甫道をあちこちと歩いてます時は、田舎としての神様の御恵みを十二分に受けて生活する私共は、何と幸福なものであらうと、常に思はれてなりません。こゝ田舎の地には、豐年の喜び溢ち〳〵て、稻は色づきそめ、山には栗の實が笑み落ちて居るので、夜のあけぬうちに、子供と云はず、大人と云はず、籠を腰に、鎌を手に立ち出でます。いかにも平和な世界でございます。御社の皆様方御すこやかで、益々眞實なる我が週報のためにおつくし下さいますやうに。

醫學士SKへ氏

新　雲

御來書拜誦、小生過日の一文に紙數限りあり、彼の一例も大體を書いた爲めに意を盡さず御不興を蒙り恐縮、改めて左に詳記

「一支那苦學生、いぼ痔が痛いから、某病院へ或る人の紹介で行つたら、之は直ぐ手術しなくてはいかぬ、今に入院料共五十圓と見ることの事。二三回しかない苦生驚天して逃げ歸り、翌日東醫學校へ行つたら『此の疾患は理想的完全療法としては、なる程手術を要するとも言へる。併し今直ぐ手術する要もなく、又入院手術する程の重患でもない。やるとしても局所麻醉法で澤山だ。今は最低度の療法をして見やう。但し局所麻醉手術は二三回で間に合ふのだ』と言つて兎に角下剤と塗藥を與れた、苦生はやつと安心して歸宅、其後日に快方、今では更に苦痛を感じない、まるで忘れたやうになつて居る。事實は右の通り。之が病院に醫師の見立ての相違とのみ言へやうか、一方に月給制度の病院醫師、而して營利本位の病院、假りに學校の二三回は實費でないとして五圓位は取るとしても、五圓と五十圓の間に生ずる相違は何處から來るか。今日の開業醫術制度が日本人の生活程度に不釣合に贅澤だからである。道具立てが立派過ぎると、患者の生活程度からは甚だしく高價になる。多分に仁術的であるべき筈の醫業が、純營利商賣の傾向に陷るは、制度が惡いからである。實費治療所設置に對して醫師側が反對したり、又新發新治療法に對して一部の志ある醫師側が檢査機關を設けやうと唱ふるなど　皆な此の傾向の反映である。病を見て人を見ざる時、醫術は不仁術になる。尚ほ此の問題はもつと細かく何れかの月刊雜誌で再論しやうと思ふ。其節は本誌上で其旨御通知します。一人の醫師を作るに、如何に青年の努力と親の學資を要するにした處で、擬台せの出來る丈け多くの利益を收めやうと云ふ位なら最初から贅澤商賣を始めざるに如かず」

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

時事

◉露國參謀總長更迭　露軍最高司令部參謀總長アレキジエーフ將軍は、首相の「コルニコフ將軍の謀反に關係ありとの疑ひある將軍輩に士官を、全部最高參謀部より轉任せしむべし」との主張に對し、異議を唱へ、遂に辭職しましたので、ケレンスキー首相が代つて[illegible]の事務を執ることゝなりました。

◉[illegible]國[illegible]交可決　[illegible]院に於ご兩黨一致を以て[illegible]との國交斷絶を可決し、下院に[illegible]の由です。

◉米國日用品禁輸　日用品を貯藏する爲め米國輸出管理局は一種の輸出禁止令を發布しました。此禁令は小麥、製粉、砂糖、牛酪、綿リンネル、鐵鋼及び幾多の化學製品を[illegible]戰爭に[illegible]日用に供するもの、外一切の[illegible]禁ずるものであります。

◉戰場と化した那須の原　栃木縣下西那須に於て、近衞工兵監監の下に、近衞工兵大隊第二工兵大隊(仙臺)、第十四工兵大隊(水戸)其他の聯合工兵特別演習が十六日から開かれて居ります。今回は悉く歐洲戰爭を模擬したもので、鐵條網破壞、毒瓦斯戰等壯烈を極めて居ります。

◉臨時教育會議設置　學制問題は既に十數年の懸案でありますが、高等學校大學の如き最高學府に至つては、尚ほ未解決の問題が多く、從つて教育上の施設渋滯を免れませんのに、社會は益々人材を要求する事が切であります。それが爲め今回特に内閣に臨時教育會議なるものを設置し、教育に關する制度を審議して其の振興を圖り、時勢の必要に應ぜんとして居ります。これが官制は二十一日勅令を以て公布せられ、平田東助子は總裁を、久保田讓男は副總裁を仰せ付けられました。

◉新東宮武官長　山根一貫氏病歿後缺員の儘であつた東宮武官長の後任者として、第十一師團參謀長小川歩兵大佐が少將に昇進し廿二日東宮武官長に補せられました。

◉暹羅皇甥殿下御入京　暹羅皇甥プラ、オンアチヤカ、アルサント、デビエ、ープハ殿下は十八日[illegible]に入港、同日午後[illegible]汽車にて入京遊ばされました。殿下[illegible]年十二歳、我[illegible]の[illegible]を備へた[illegible]な方であります。當分に學友兩名と日本に滯在遊ばさるゝ筈です。

◉急行列車を停む　去る十六日午後一時[illegible]上野行第八〇二號急行列車に乘客たりし、鵜澤總明博士及び辯護士今村力三郎兩氏が、積込手荷物の積込不足より[illegible]を詰問して、[illegible]たる野内驛に同列車を廿六分間停車せしめたと云ふ奇態の事件があります。其の事件の内容は兎に角、公の交通機關を止めることは畏くも一天萬乘の君に於かせられても爲し給はぬ事で實に由々しき大事なれば、鐵道院では[illegible]人を派して事實の取調に着手いたして居ります。

◉早大漸く開校す　高田、天野、坪内の三博士提携に効を奏せなかつた早大は遂に澁澤、森村、豐川、中野の四氏に懇請して維持員たるの快諾を得、革新團また讓歩して開校を望み、既定の通り廿二日より授業を開始しました。然し解職教授退學學生の復校運動は尚ほ續けられて居ります。

◉勅裁になりし防疫費　内務省にては各地に發生せる虎疫撲滅の爲め、金十萬六千圓を第二豫備金中より勅裁を經て支出されました。是れを以つて富山、石川、新潟、群馬、東京、京都の各發生地に對し、大々的の防疫施設を行ふ筈です。

◉聯合七ヶ國へ慰問　聯合國傷病兵慰問會にては募集金額も豫定以上の百九十四萬圓に達しましたから、不日英國廿六萬八千圓、佛、伊、白、露各廿六萬三千圓、羅米各六萬圓に「慰問號」と云ふ册子を添へて發送する筈であります。

◉奠都記念事業　東京市では奠都五十年祭の記念事業として、市役所廳舍及び市公會堂建設の外記念道路營築の計畫があります。改築費は五百萬圓内外、記念道路は宮城を中心として市内幅員の街路に及ぶべく、三百五十萬圓の豫算であります。

◉山室軍平氏歸る　歐米漫遊中なりし日本救世軍大佐補山室軍平氏は、十八日サイベリヤ丸にて歸朝されました。氏は本年四月日本を發し、倫敦に向ひ、二ヶ月間同所に滯在して米國へ赴きました。漫遊中救世軍の用事の外、内務省から救濟事業の調査の[illegible]託をも受けて居りました爲め、特に戰時救濟の狀態を細かく視察して歸られました。

◉美術院の同人決定　目下上野に開催中の美術院では速水御舟、川端龍子(日本畫)戸張孤雁(彫刻)の三氏を同人に推薦し二十一日宣誓式を行ひました。尚ほ牛田雞村(日本畫)山脇信徳(洋畫)の二氏は樗牛賞を授與されました。

◉化學工業博覽會開く　清浦子の總裁なる化學工業博覽會は、二十日上野不忍池畔會場に開會の式を擧げました。場内の呼び物としては[illegible]府出品の五千斤の樟腦で作つた[illegible]神社の模型、久原鑛山の太陽形に作つた産出銅の大統計表、東京衛生試驗所の職工衛生參考品等であります。

◉地方婦人團體調査　近年婦人の修養問題は刻下の緊急事として有識者の間に大々研究されて居りますが、内務省に於ても豫てより地方の状況に鑑み、之が調査計畫中の處、差當り各府縣婦人の修養を目的とせる處女會、婦人會、女子會等を調査することゝなり、過日後藤内相を以て左記調査事項を各地方官宛に通牒を發しました。

△名稱及設置の區域△沿革の大要△組織並に會員數△事業の大要△一ヶ年の經費△財産△其他參考事項。

◉選拔された巖本女史　米國ボストンのウエルスレエー女子大學では、年々世界各國の女子一名づゝを選拔して學資其の他一切の費用を支給して居ります。修業年限は四年で、卒業後はマスター、オブ、アーツの稱號を與へて居りますが、本年は日本へも女學生一名選拔のことを築地の立教女學校へ交渉して參りました。それが爲め同校のヘーウード孃は專ら人選の結果、下田歌子女史の實踐女學校英語教師巖本清子女史(二八)を選拔し、十九日春洋丸にて渡米いたさせました。女史は明治女學校の創立者巖本善治氏の長女で、母はかの小公子の翻譯者として知られて居る、故若松賤子女史であります。明治女學校卒業後實踐女學校家政科を卒へ、立教女學校の英語、專修科を優等にて卒業された才媛であります。歸朝後は實踐と立教の兩校に教鞭を把らるゝ筈です。

◉婦人洋畫家展覽會　恩地信子、瑞原久和代、尾島初枝、深松琴子の諸女史が發起になる第三回婦人洋畫家展覽會は十二月上旬開催の豫定でありますが、出品者には發起人の外、田中館博士の令孃、小笠

瀬伯爵夫人、令嬢に令閨夫人等の名流夫人たちも加へ、廣く女流美術家のみの作品を集めたい希望の由です。

◉蕉園女史の大患　毎秋文展の花形として、美しい作品を見せて居た池田蕉園女史は、脚氣病の爲め今夏鎌倉に轉地しましたが、七月初旬歸京して田端の自邸に靜養中、本月十日頃より全く臥床し腸患に肋膜炎を併發し、お弱りしと聞きます。特に八日以來は流動物を攝取するのみで家人等もひどく心痛して居ります。

女學校だより

▲この花會演奏會　同女高等女學校同窓生より成るこの花會は　母校增築費寄附のため十月七日午後一時東京音樂學校奏樂堂に演奏會を開催し、杉山長谷夫、武岡鶴代、樋口信平氏の外ペッツオールド夫人も出演されるさうです。

編輯室より

▲この秋雨に育まれて、松林の蔭にふくよかに茸の頭をあらはすであらうなど、思ふもすがすがしい今日この頃であります。しんみりと落付いた心地になれるやうになり、皆様も本誌を御精讀下さると見え、懇ろなおたよりを續々頂戴いたします。編者にとつては、何よりの勵ましでございます。▲秋に進む米國に在る末見の方次子夫人よりは、自ら撮影された御家族一人一人の御寫眞や、御住居及び石井特命大使一行の歡迎ぶり、同地のおもしろい風俗などの寫眞を御送り下さいました。十年の知己のやうななつかしさを以て、其の御家族に見えました。次號には其の寫眞中、面白い風俗の一つを掲げたいと存じます。

人事相談所

□本所は婦人週報社の附屬事業として、世の婦間に惱める男女に同情し、精神上、生活上、其他百般の相談に應じ、最も善き解決を與へます。

□本所は絶對秘密の下に、結婚調査、人物調査、財産調査、男女學生品行調査、裁判上の證據調査等の御依頼に應じ、親切と誠實を以て其の任に當ります。但しこれは依頼者が至當と思はれる程の低廉な調査料を申受けます。

□本所に御相談なされたい方は、書面にて申越されるか、若しくは直接面會に來て下さい、面會時間は日曜木曜を除くの外午後零時より、午時四時迄です。

東京牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地
婦人週報社内（電話番町四五六六番）
人事相談所

婦人週報（毎週金曜發行）

定價表
△壹部金五錢（但し郵送料五厘を含む）
△一ヶ月（四部又は五部）金二十錢
△三ヶ月（十三部）金六拾錢
△半年（廿六部）金壹圓拾錢
△一年金貳圓廿錢

廣告料
△特等（表紙の二、四）金參拾圓
△壹等（表紙の三、白紙前付）金廿五圓
△貳等（色紙の表側）金廿貳圓
△參等（色紙の内側）金貳拾圓

注意
▲御註文は一切前金の事▲郵券代用には必ず一割増の事▲送金の爲替名宛は東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地婦人週報社▲振替口座は東京三一六六〇番▲前話發送を以て領收書に代ふ

編輯兼印刷人　小橋三四子
東京市京橋區銀座四丁目一番地
印刷所　福音印刷株式會社
東京市牛込區市ヶ谷田町二ノ目十七番地
發行所　婦人週報社
振替口座東京三一六六〇番
電話番町四五六六番

生徒募集

個人教授

裁縫手藝

師範科（四月及九月入學）家政科（四月入學）
和服裁縫、刺繡、造花、編物、袋物、摘細工、綿細工、儀式用折紙並水引結方、縫細工、壜細工
染絞（以上入學隨時）

詳細規則書郵券二錢ヲ要ス
東京市麴町區上六番町七番地
私立大妻技藝學校
電話番町一二二〇番
振替東京三一六〇九番

弊店の特色

御召　織式　縞染

△古手物モ新規同樣ニ相成候
△出來期日ハ最モ正確且ツ迅速ヲ旨ト致シ候
△御註文ノ際ハ御一報次第早速店員御伺御用命ニ應ズベク候

中澁谷六百十八番地
（玉川電車通西郷邸前）
百足屋染物店
平田孫太郎

シンガー裁縫院

生徒募集

㊇和洋服刺繡（東京有樂町一ノ五）
●ミシン專修
●毎月五日迄入學

牛込新見附
原田耳鼻咽喉科院
電話番町一三二一番
入院應需
院長醫學士　原田貞夫
　原田三杉

齒科診察

府下千駄ヶ谷町五百六十三番地
齒科醫學士　大久保透

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

診察毎朝及毎夕但祭日及日曜之他
院長診察　月、金、木午前及(木)午後六時
林、峰間兩副長は目下當院に在勤
東京三番町三十番地（市ヶ谷見附內）
電話番町　六二番

東洋內科醫院

院長　醫學博士　高田畊安

南湖院

電話ちがさき二番
神奈川縣茅ヶ崎海濱（從停車塲半里）
河野、高橋兩副長は目下當院に在勤
院長診察　土曜日　午後入院診後應需
診察毎朝但祭日及日曜及土曜之他

大黒天印　赤　白

宮崎葡萄液

宮崎葡萄液ハ「アルコール」分ヲ含マズ最モ滋養ニ富ミ上戸ニヨク下戸ニモヨシ御婦人御子供衆ニモヨク頗ルオモシロキ理想的好飲料

大小數種化粧箱
商品切手調進仕候

宮內省御用達
東京市日本橋區通旅籠町
發賣元　甲斐產商店
電話浪花八七〇、八七一

耳鼻咽喉科專門

大野醫院

耳鼻咽喉科
院長　大野喜伊次
（入院隨時）
東京京橋區南鍛冶町廿七
電話京橋一〇三五

◎產婦人科◎小兒科

宅診午前　往診午後
病室、產室ノ設アリ入院ノ需メニ應ズ
院長　女醫　吉岡彌生
東京市麹町區飯田町四丁目卅一番地
電話番町三三五七

東京至誠病院

英語生徒募集

高等女學校卒業生に適當の各級あり又年長者にしても英語初歩より學ばれんとする者にも懇切に教授す（ピアノ個人教授の需めに應ず）

英語專門私立　櫻井女塾

本郷區彌生町三番地（電話下谷六八一五番）

產科、婦人科、小兒科

女醫　井出茂代

東京府內藤新宿番衆町卅一番地
電話番町三六七七番

松下皮膚科醫院

○診察、午前、夜間
○京橋南八丁堀櫻橋際
（電　京　二二三一番）

家庭衞生講習會

一、目的　家庭に必要なる衞生及衞生マッサージを敎授す。
一、場所　赤坂區新町三丁目四十六番地婦人矯風會本部內。
一、期間　自毎月十六日至次月十五日月水金午時二時より四時迄。
一、講習科　金十圓也前納の事。
一、人員　十名を以て定員とす。
一、證書　講習修了者には修了證書を交付す。
一、特典　講習修了者は會員として隨意に傍聽又は研究する事を得。
一、主催　婦人矯風會本部。
一、講習主任　醫師藤井孝。
右御希望の方は至急赤坂區新町三丁目四十六番地婦人矯風會本部（電話芝一七五三）に申込まれたし。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

高貴御料

として婦人社會の大評判となつた白粉

ホーカー白粉の發見は、單なる化粧品の發賣と云ふ以外に、婦人全般の上の問題として、充分貢獻する處があつた事を、本舖は充分確信致し、社會の賞讃を喜んでお受け致します。

花粉を練つたやうな純白な白粉

練製

ホーカー白粉

スバラシイ賣行……

發賣されてより既に三年に至り、日本最秀の白粉としての權威は品質に化粧界にあらゆる點に、他の白粉より一歩拔出て、一度試用せば眞價は直ぐに分るを以て、忽ち大好評を博し、本日にては白粉界始つての大賣行を見るに至り、日日の製造高驚くべき多額に上つて居ます

全國到る處に販賣す

（定價 一瓶 金卅五錢）
（送料内地郵税共金卅錢）

最寄の店に品切の際は振替又は三錢切手代用にて御注文下さい

ホーカー液
ホーカー白粉
ホーカー美髮液
ホーカースヰート

本舖 東京和泉橋 堀越嘉太郎商店
振替東京一五六

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

發行所 東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地 婦人週報社

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA